

(2020. 6. 9)

アゲハチョウの羽化

5月の終わり、我が家の南側のアルミサッシ雨戸枠に、アゲハチョウのサナギを発見しました。

堅牢な緑の鎧で守られたサナギです。それは、新しい生命の誕生を予見させるものでした。なぜ、野鳥などの外敵に無防備なアルミサッシなどに、・・・思えば、以前、庭のネットにもサナギを見ました。同じように身体をさらけ出していました。

我々には、無防備に見えても、生物的に、外敵を寄せ付けない仕組みが、備わっているのかもしれませんが。



サナギは上半身を大きくのけぞらせ、サッシに密着しています。

両脇から伸びた2本の糸のような筋が支えています。サッシの面には、糸先を網状に張り付けたような広がりが見られます。



尻の部分はというと、尻先の部分をサッシに密着させる工夫がされています。茶色の網状の接着面が見られます。

サナギに気づいてから、十日目ぐらいの姿です。



十三日ごろの朝確認した所、緑色の鎧は、茶色みを帯びていました。鎧の色が変わっていたのです。

蝶についての知識のない私は、羽化の期間が長く、身体の変色が死を意味したか、と思いました。

羽化の場面を想像していましたが、残念。

しかし、気になり、午前 11 時頃、再度見ると、なんと、サナギの頭部分から「黄アゲハ蝶」が、一羽、羽ばたき、まだ弱弱しく飛び去ってゆきました。

我が家のサッシが、生命誕生に一役買いました。

飛び去る姿に感動しましたが、一時間早く確認できれば、もっと決定的な場面に出会ったことと思います。

サナギ、来年も、見られるかな、楽しみです。



ぬけがらが残されました。

からは、緑色がすっかり変色し、透き通るように見えます。



サナギの覆いから身体が抜け出すには、頭の部分が割れたようです。

ここが開き、すり抜けたのでしょうか。

セミのように、背が割れ、反転するような羽化ではなさそうです。

羽化を成し遂げた、誕生したての黄アゲハは、庭のみどりの葉景に飛び去りました。